

2026年度第1回海洋フォーラム

水産業の最前線

— 我が国の水産業の現況と課題 —

2026年
5/10

(日曜日)

14:00~16:00

我が国における伝統的な産業である漁業や水産加工業といった水産業は、現在高市政権において取りまとめが進められている「日本成長戦略」においても複数の戦略分野で注目されていますが、発展の余地が依然として大きい産業、即ち国際的に主導権を握ることができる可能性がある産業であると言えます。

そこで、今回の海洋フォーラムではこのようなさまざまな可能性を秘めた漁業や水産加工業などをはじめとする水産業の可能性について、関連政策の検討や立案、実施に携わる有識者や実務家、研究者をお招きし、これまでの取り組みを踏まえつつ、その最新動向を共有していただくとともに、その成果をさらに発展させるために求められる今後の取り組みを議論します。

参加費無料
(要事前申込)



参加申込フォーム表示

プログラム

【開会挨拶】

角南 篤 笹川平和財団理事長
石垣 雅敏 根室市長

【来賓挨拶】

伊東 良孝 衆議院議員

【パネルディスカッション】

パネリスト

鈴木 貴子 衆議院議員
藤田 仁司 水産庁長官
牧野 光琢 笹川平和財団海洋政策研究所長／
東京大学大気海洋研究所教授
畔蒜 泰助 笹川平和財団戦略・抑止グループ上席研究員

コメンテーター

角南 篤 笹川平和財団理事長

モデレーター

高屋 繁樹 笹川平和財団海洋政策研究所上席研究員

会場

根室市総合文化会館

徒歩: JRねむろ駅から約15分
車・タクシー: JRねむろ駅から約5分
バス: JRねむろ駅前バスターミナル
から約15分



Googleマップ表示

これまでの海洋フォーラム等
イベント情報はこちら▶

※この事業はポートレースの交付金による
日本財団の助成を受けて実施します



お問い合わせ先
笹川平和財団海洋政策研究所
Tel:03-5157-5210 Fax:03-5157-5230
E-mail: kaiyoforum@spf.or.jp

登壇者のご紹介(ご登壇順)



角南 篤 (笹川平和財団理事長)

1965年生まれ。1988年ジョージタウン大学卒業、1992年コロンビア大学国際関係・行政大学院Reader、1997年英サセックス大学科学政策研究所TAGSフェロー、2001年コロンビア大学政治学博士号(Ph.D.)取得、2003年政策研究大学院大学助教授、2014年政策研究大学院大学教授、2016年政策研究大学院大学副学長、2017年笹川平和財団常務理事兼海洋政策研究所長、2019年政策研究大学院大学長特別補佐・客員教授などを経て、2020年から現職。昭和音楽大学学長／昭和音楽大学短期大学部学長、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構客員教授、アジア太平洋財団特別フェローなども務める。

石垣 雅敏 (根室市長)

1951年北海道根室市生まれ。工学院大学専修学校卒業。1976年根室市採用、1990年根室市企画振興部企画課広報係長、1991年根室市総務部総務課秘書係長、1998年根室市水産経済部商工観光課長、2001年根室市総務部北方領土対策室長、2002年根室市水産経済部水産課長、2003年根室市企画振興部企画政策室長、2004年根室市水産経済部長、2005年根室市北方領土担当参事、2006年根室市総務部長、2006年根室市助役、2007年根室市副市長などを経て、2018年から根室市長(現在2期目)。



伊東 良孝 (衆議院議員)

1948年北海道旭川市生まれ。1962年父の転勤で釧路へ。1974年北海道教育大学釧路校卒。1985年釧路市議会議員初当選(3期)。1995年北海道議会議員初当選(2期)。2002年釧路市長初当選(2期)。2009年衆院選に北海道第7区から出馬し初当選(現在7期目)。2016年農林水産副大臣、2017年衆議院農林水産委員長、2018年自由民主党水産部長、2019年9月農林水産副大臣(再任)、2020年衆議院地方創生に関する特別委員長、2024年10月に発足した石破茂内閣で内閣府特命担当大臣(地方創生・沖縄北方対策担当)などの要職を歴任。



鈴木 貴子 (衆議院議員)

1986年北海道帯広市生まれ。カナダ・ブリティッシュコロンビア州ロックリッジ高校卒業、カナダ・オンタリオ州トレント大学(専攻:国際政治経済学、社会学)卒業。2009年NHK入局、2013年衆議院議員初当選、2018年防衛大臣政務官(第4次安倍改造内閣)、2019年自由民主党副幹事長、2021年外務副大臣(岸田内閣)、2021年外務副大臣(第2次岸田内閣)、2022年自由民主党副幹事長、2024年自由民主党青年局長、2024年自由民主党水産部会長、2024年自由民主党選挙対策委員会副委員長、2025年自由民主党広報本部長などの要職を歴任。



藤田 仁司 (水産庁長官)

昭和62年(1987年)に農林水産省に入省し、水産庁資源管理部管理課長、水産庁漁政部企画課長、水産庁増殖推進部栽培増殖課長、水産庁資源管理部長、水産庁次長を歴任し、令和7年7月より現職に就く。

牧野 光琢 (笹川平和財団海洋政策研究所長／東京大学大気海洋研究所教授)

佐賀県唐津市生まれ。京都大学農学部水産学科卒、ケンブリッジ大学大学院修士課程修了(M.Phil.)、京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。横浜国立大学大学院環境情報研究院博士研究員、(国研)水産研究・教育機構主任研究員、水産政策グループ長等を経て2019年4月より東京大学大気海洋研究所教授。



畔蒜 泰助 (笹川平和財団戦略・抑止グループ上席研究員)

1969年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、モスクワ国立国際関係大学修士課程修了。東京財団研究員、国際協力銀行モスクワ事務所上席駐在員を経て現職。専門はユーラシア地政学、ロシア外交安全保障政策、日露関係。露ヴァルダイ会議の常連で昨年11月にもプーチン大統領と直接質疑応答を行っている。

高屋 繁樹 (笹川平和財団海洋政策研究所上席研究員)

鹿児島大学大学院(海洋物理学)、横浜国立大学大学院(国際経済法)修士課程修了。1991年農林水産省入省。水産庁資源管理部国際課北方第一係長、同課長補佐、同捕鯨室長、同管理調整課沿岸遊漁室長、同漁業取締課長、同漁政部水産経営課長を経て、昨年7月より笹川平和財団へ。漁業協力、捕鯨、漁業監督、漁業関係法令、水産金融が専門。日ロ関係では交渉や国内調整の他、ロシア船への許可業務や指導監督を担当。

